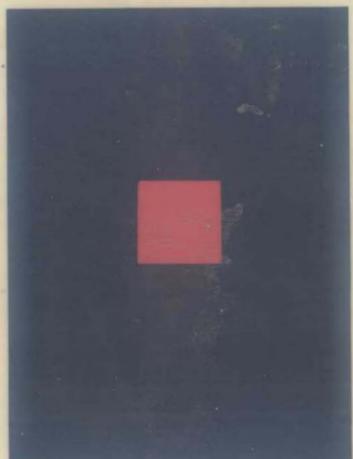


自然の断章

串田孫一



講談社

自然の断章

串田孫一

講談社

自然の断章

昭和五十三年四月二十四日 第一刷発行
昭和五十三年六月二日 第二刷発行

著者 串田孫一
発行者 野間省一
発行所 株式会社講談社

東京都文京区音羽二-1-11-111 郵便番号112
電話東京(03)9451-111(大代表)
振替東京八一三九三〇

印刷所 信毎書籍印刷株式会社
製本所 黒柳製本株式会社
定価 八八〇円



落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。(文一)

©Magoichi Kushida 1978, Printed in Japan

0095-139584-2253(0)

目

次

愛すべき同居者	14
秋の夜長	16
小さな稻作	18
落葉焚き	20
上等な赤土	22
冬支度	24
寒さを告げる音	26
不作法な道	28
鼠の訪問	30
石からの連想	32
冬の雨あがり	34
かじかむ	36

押しくら饅頭	38
朱色の翅	40
松に吹く風	42
古風な怪我	44
冬の雷	46
日脚がのびる	48
春を告げる花	50
赤信号	52
硝子磨き	54
春の遅い村	56
先の季節を追う心	58
永遠の別れ	60

木々の終り	62
親の世話	64
日向の鼠 <small>もぐら</small>	66
大きな勇気	68
逃げる水	70
五月の朝露	72
櫻の若葉	74
庭の監理	76
必死の産卵	78
宇宙からの使者	80
鳥の声	82
雨の音	84

蚊のおばさん	86
偏屈な動物	88
発見と解決	90
雨後の空想	92
蛇と蛙	94
争いごとの見学	96
片蔭	98
理性的な雨	100
都会の雲	102
旅人の悦び	104
美名の害虫	106
秋の朝顔	108

勝負の真似事	110
午前三時半の星	112
田舎の秋	114
屋上めぐりの蝶	116
不老長寿の虫	118
歳月	120
狂い咲き	122
泥の子供部屋	124
鮮明な世界	126
富士山の大雪崩	128
犬の遠吠え	130
黃金色の雪	132

植物との距離	134
天気図	136
ザザムシの話	138
次の巳年の正月のために	140
凍結の庭	142
冬を越す蛾	144
霜の華	146
灰神楽	148
春を呼ぶ声	150
三角の日向	152
早朝の道	154
時の流れ	156

手の早い風	158
地底からの警告	160
竹声桃花	162
不死の木	164
心を刺戟する声	166
屋上の労働	168
浅瀬を渡る	170
水清くして	172
黄昏に飛ぶ	174
異形	176
古池の畔	178
魚の歌	180

初夏の昼と夜	182
梅雨期の教訓	184
屋根からの移植	186
珍客	188
強雨の作用	190
菜萸の実	192
匂いと花粉	194
夏の温度計	196
暑中見舞	198
赤い夕日	200
天の牛	202
心細さ	204

殺し屋	206
木々の声	208
脱皮	210
雲の美しい日	212
夜会の花	214
掌の上の山塊	216
家を守る	218
落穂拾い	220
別れの時	222
後記	224

自然の断章



愛すべき同居者

八月のはじめ、夜、本を読んでいると、兜虫の雄が窓から飛び込んで来た。今年の相場が幾らしているかは知らなかつたが、かなりのお金が舞い込んで来た感じで、もてなし方も昔に比べると丁重だつた。胡瓜、西瓜、桃などが冷蔵庫から惜しげなく与えられた。

それをどこかで見ていたように、一時間ばかり遅れて、兜虫の雌が飛んで來た。猫が玩具にしたりする心配があるので、もう使うことはあるまいと思つていた手製の飼育箱を屋根裏から出して来て、一応そこを仮の宿にして貰つた。